

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案件名：(仮称)ゼロカーボンシティかのや推進計画（素案）
- 2 意見の募集期間：令和6年2月1日～3月1日（30日間）
- 3 意見提出者：2人
- 4 意見数：2件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	1件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	2件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>まだこうなるかどうか未定であり、理想しか過ぎないが、“磁石社会（仮）”または“マグネット社会（仮）”に向けて人がボートの上に乗って操作していく。ボート自体が熱を吸収する力を持つ。それを熱エネルギーに変える。名称は“ホッパーボード（仮）”。まず速度30～60km 免許証ない場合は10km あった場合は30～60km。エネルギーは風力体温熱+太陽熱リチウム電池に充電+蓄電する+磁力パワーでも動く、水素エネルギーを使用可。1人用キックボード体重プラス荷物の重さが課題。日本はさてつの国。今後のエネルギーチャージの小型化が急がれる。また、太陽光+磁石を組み合わせたエネルギーを採用する（将来的に目どが立つなら）法律上歩行者なのか、免許証があるのか、ヘルメットがあるのか、トイレをどうするのか？課題。人にやさしい社会とは、元々あるものから、それをどう楽しむかによる。クラウドファンディングや特許をどうするのかを広めていく。買い物難民や運動不足の解消は冬に運動を出来るように配慮すること。また歩道が楽しい社会の実げんに向けて工夫をおぎなうといいと思います。</p> <p>(意見は原文を記載。)</p>	E	御意見として承り、事業の参考とさせていただきます。

<p>2</p>	<p>1, 人工軽油、人工重油、人工灯油を製造できる滋賀県のアイティー技研(株)のドリーム燃料製造機(2億円)を購入して運用する。原料は電気、水、CO<sub>2</sub>なので安価で排気の綺麗なゼロカーボン燃料。人工軽油 14 円/ℓ以上の値段で利益があるので軽油を使う運送業、農業、漁業、建設業は大幅な経費削減になる。運転者は1人で可能。資格は必須ではない。広さはコンテナ約2個分。人工軽油の税は消費税しかかからない。国は税金が取れず、石油利権も無くなるので絶対に教えてくれません。自民党国会議員に期待してはいけません。</p> <p>2, 化学肥料を禁止する。CO<sub>2</sub>の発生源。下水汚泥を肥料に絶対してはいけない。重金属や化学物質の汚染で住めなくなる。(北海道農研機構上級研究員からのお話)</p> <p>3, 炭を作って埋設、又は水場に沈める。木、竹、草は分解される過程でCO<sub>2</sub>を放出する。炭にする と半永久的に炭素固定される。河川等の水質改善にもなる。</p> <p>4, 小規模バイオマス発電所を各地に作って放置される木、竹などを燃料に電力を作る。各地に建設することで送電による電力ロスと燃料運搬のコストを減らす。人工軽油も使う。</p> <p>5, 森林伐採による発電所建設を禁止する。</p> <p>6, C4 植物の生産を奨励する。竹、トウモロコシ、サトウキビなどはCO<sub>2</sub>吸収が他の植物に比べて早い。</p> <p>(意見は原文を記載。)</p>	<p>C</p>	<p>御意見として承り、今後の本市の施策・事業の推進にあたって参考にさせていただきます。</p>
----------	---	----------	--